

する。

数年前から、盛んに日本人による「朝鮮学校を支援する会」や「友の会」をつくりあげてきたが、このたびはこれらが繋がり、要請運動や集会・デモを行っている。そこに朝鮮人がサクラになって参加しているという。

そして、「高校無償化」から朝鮮学校排除に反対する連絡会なるものを、朝鮮高校のある地域でいっせいに立ち上げ世論を喚起させようとしている。そこでは「朝鮮学校への差別はゆるさない」が基本スローガンだという。

私は言いたい。何が民族差別なのか！

日本政府は、さる四月三十日、三二校の外国人学校・インターナショナルスクールを無償化の対象にした。そのなかには大阪の白頭学園・建国高校や全国の韓国系の高校も含まれている。多くの日本人は在日の民族教育は、即朝鮮学校だと思つてはいるようだが、そうではない、決して数は多くないが日本には韓国学校があり民族教育を行っている。そして、それらの学校には無償化が適用されたのである。

大阪府知事の勇気ある、そして当然な発言どおり、金正日（ナチ）と北朝鮮国民（ドイツ国民）は違う。自国民を拉致され主権を脅かされた日本政府が自らの主権を行使することがどうして「民族差別」であろうか。

朝鮮高校の現代史教科書は何を書いているのか

現代朝鮮史家・ノンフィクション作家 萩原 遼

朝鮮高校の現代史の教科書は「現代朝鮮歴史」の表題で一から三巻まである。各学年ごとに一冊ずつ学ぶという。一年生用は一二二頁。二年生用は一五八頁、三年生用は一六二頁。今回全巻を翻訳・刊行したので、ざっと目を通していただければ、おおよそ何を書いているかはわかっていただけでしょう。

徹底した個人崇拜

一、二、三巻を通じてまず目につくのは、金日成、金正日に対する徹底した個人崇拜である。ほとんどの頁に金日成と金正日が登場する。

私が日を重ねることに感じ入る言葉、「朝鮮民族が悪いのではない。北の不法国家が問題だ。それはドイツ民族とナチスの関係と同じだ」との言葉である。そして、朝鮮学校訪問時に「君たちが悪いのではない。大人の問題なんだ」と、子どもたちに語りかけたと言う橋下知事の言葉のなかに、政治家としての主権意識と北の人びとに対する人権的配慮に胸をあつくするのである。

朝鮮人学校を支援してくださる心ある日本人の皆さんに申し上げたい。どうか北の金正日政権と、その忠実な下僕・朝総連、朝鮮学校の本質から眼をそらさないでいただきたい。独裁者金正日と平和を語り、人権を語り、善隣友好を築くことが出来るとお思いですか。とんでもないことです。

五月からは「専門家会議」が開かれ、朝鮮高校への適用が検討されているようだが、よもや民主党の政権が、一部総連の「運動」などに惑わされ、ほんとうの民意を見誤るようなことはないものだと思いたい。私は日本の良識を信じて疑わない。

よく考えてみると、この機会は在日同胞、そして多くの日本人に「総連教育」の実態を認識してもらい、ほんとうの民族教育を構築するよき契機なのかもしれない。

二〇一〇年六月二十五日

三年生用を見ると、金日成・金正日父子の写真掲載が二二三回。三頁半に一回の割で親子の写真が出てくる。そして金日成への言及が六七回（二頁半に一回）。金正日は八六回（二頁足らずに一回の割り）。これでは歴史ではなく金親子の家系史を学んでいるといっても過言ではない。以下一巻から三巻まで特徴的なことのみ紹介する。

■一年生用Ⅱ朝鮮戦争は

アメリカと韓国による北朝鮮侵略戦争

「米帝国主義のそのかしのもとに李承晩は一九五〇年六月二十三日から三八度線の共和国地域にたいする集中的な砲射撃をおこない、六月二十五日には全面戦争に

拡大した。

共和国政府は即時李承晩「政府」に戦争行為をただちに中止することを要求しつつ、もしも侵攻をやめなければ決定的な対策をとるであろうと警告した。

しかし敵どもは戦争の火を引き続き拡大した

六月二十五日、共和国に作り出された嚴重な事態と関連して朝鮮労働党中央委員会政治委員会が招集され、次いで共和国内閣非常会議が開かれた。

敬愛する金日成主席様におかれては、会議において、朝鮮人をあなどって飛びかかるアメリカのやつらに朝鮮人の根性を見せてやらねばならないとおっしゃりながら共和国警備隊と人民軍部隊に敵どもの武力侵攻を阻止させ、即時反攻撃に移るように命令をお下しなされた」(七九頁)。

これが事実ではないことは北朝鮮と朝鮮総連以外の人間はみな知っている。金日成が二年にわたる周到な準備のもとに七個師団の大部隊で南に攻め込んで朝鮮戦争が起きたことを、朝鮮戦争時に米軍が押収した一六〇万頁の北朝鮮文書をもとに立証した私が黙っているわけにはいかない。これについては『朝鮮戦争——金日成とマッカーサーの陰謀』(一九九三年 文春文庫)に書かれている。資料として『北朝鮮の極秘文書』(夏の書房)上中下

一九六〇年代半ばアメリカの侵略策動と現代修正主義(当時のソ連をさす)の影響を受け、ブルジョワ・修正主義路線をとる幹部たちが金日成の政策にことごとく反対した。

「ところが、当時の一部の幹部たちは党の路線と政策にもとづき彼らを正しく見抜くことができず、彼らに盲従妄動する現象まであらわれた。

敬愛する金正日將軍様におかれては、朝鮮労働党中央委員会で活動されながらブルジョア・修正主義分子たちの正体を見抜かれ彼らの策動を阻止するための対策を立ててなされた。敬愛する主席様におかれては作り出された情勢と党内の状況を分析され、一九六七年五月朝鮮労働党中央委員会第四期第一五回全員会議を招集なされた。会議においてはブルジョア・修正主義分子たちの策動が全面的に明らかにされ、党の唯一思想体系を確立することについての問題が討議された。(中略)

全員会議を契機にブルジョア思想、修正主義思想などあらゆる不健全な思想を根こそぎにし、主体思想で武装するための活動が力強く展開された」(六五〜六六頁)。

極端な個人崇拜と息のつまりそうな国になって、人びとに笑いが消え、強制収容所と飢餓の国に変わっていった。

三巻本で北からの攻撃を示す極秘文書をまとめた。

また、『朝鮮戦争の謎と真実』(二〇〇一年草思社)の著者トルクノフはソ連崩壊後に公表されたロシア側の秘密資料で、金日成とスターリン、毛沢東の連携のもとに南を攻撃したことを明らかにした。

朝鮮戦争開戦から六〇年の今日、いまでも虚偽を教えられている朝鮮高校の生徒がかわいそうである。虚偽を真実と教え込めば命を賭して韓国とアメリカ、さらには後方支援した日本に復讐しようとする若者を生みかねない。南北統一にも逆行し、日本との共生にも反する。朝鮮学校卒業生のなかから韓国での破壊活動や、日本人拉致に従事するものが少なからず生まれているのはこうした教育と無関係ではない。虚偽を流布し、若者をあやまった道に誘い込むことが教育といえるのか。

■二年生用II金日成と金正日のクーデターを美化

北朝鮮が今日核恫喝に頼るしか体制が維持できなくなった契機は一九六七年五月に強行された金父子によるクーデターであった。つぎのように記述している。

■三年生用II拉致の謝罪なく、

「拉致を契機に反朝鮮人騒動」と八つ当たり

拉致は事実無根と強弁していた金正日政権は、内外で孤立するなかで小泉首相にすり寄って日朝国交正常化を画策。拉致を認め謝罪した。ところが朝鮮総連は金正日ほどの反省もない。三年用の現代史教科書にはこう書いている。

「アメリカでブッシュ政権の登場を契機に朝米関係は緊張状態に戻った。二〇〇二年九月朝日平壤宣言発表以後、日本当局は『拉致問題』を極大化し、反共和国、反総連、反朝鮮人騒動を大々的に繰り返すことにより日本社会には極端な民族排他主義的なふんいきが作り出されていった」(二二二頁)

小泉首相の訪朝は、金正日の密使が「拉致を完全に解決します」といって小泉首相を呼び寄せた事実を森喜朗元首相が雑誌で公表している。ところがまったく反対を教える。

「二〇〇二年九月十七日には歴史的な朝日平壤宣言が発表された。

半世紀以上共和国を敵対視したり遠ざけてきた諸国が共和国政府を正式に認め関係改善の道に踏み切ったのはアメリカの国際的な『対朝鮮包圍環』がくずれ、反共和国孤立圧殺策動が危機に瀕するようになったことを示している」(一四三頁)

一九九七年十一月に大韓航空機を爆破し、一一五人の韓国人の命を奪ったテロは今では北朝鮮の仕業であることは天下に明らかであるが、「でっち上げ」の一言である。「南朝鮮当局はこの事件を『北朝鮮工作員金賢姫』が引き起こしたとでっち上げ、大々的な『反共和国』騒動をくり広げ：盧泰愚『当選』に有利な環境を整えた」(三四頁)。在日朝鮮人を取り巻く状況も変わった。それをこう叱りつけている。

「少なからぬ同胞が日本人に『同化』して生きることによって生活の安定や後代の将来のための道を求めようとし、日本学校に通う学生の数や、『帰化』、『国際結婚』が急速に増加した。またこの時期在日同胞社会の主役となった三世、四世の同胞のなかには民族的誇りや自尊心をもって生きるのではなく、苗字と名前を維持して『朝鮮系、韓国系日本人』として生きることがあたかも国際化の流れに合っているかのごとく考える傾向が表われ始めた」

鮮語を愛し、朝鮮と朝鮮人に親しんで五五年たった。
二、教育と政治は別だという意見もあるが、私はそうは思わない。誤った政治にわかもの心がむしばまれるときは、大人が是正のために声をあげるべきだ。
三、愛国心とは、ことを覚えることから生まれると教えてくれたのは、かつて私に朝鮮語を教えてくれた朝

(二〇八―二〇九頁)。

朝鮮総連の教科書は民団にまで八つ当たりである。民団が従来の名称から「居留」をはずし「在日本大韓国民団」と改めたことを非難がましく記述している(一〇九頁)。

日本や日本人を罵倒するだけでなく同じ同胞や同胞の若い世代まで敵視したりする。これでは排他的な穴倉にこもってすねるだけではないか！教科書はこう書く。「一九九〇年代の総連は深刻な危機的状況に陥るようになって同胞社会の存在自体が存亡の岐路におかれるようになった」(二〇九頁)。自業自得というものだ。

こういうものを教科書といえるのか。子どもを政争の具にし、自分たちの体制の維持のための隠れ蓑にすることをやめよ。ましてや情けない物乞いをただちにやめべきだ。

〈朝高生の諸君に 萩原遼の意見〉

一、私は朝鮮高校の生徒諸君を非難するつもりはない。こびるつもりもない。私は君たちと同じ年ごろに韓国から密航してきた少年と大阪府立の定時制高校で机を並べた縁で生涯を朝鮮半島とともに生きることになった。朝

鮮総連の先生だった。君たちが祖国を愛し、誇りとするためにも、今のゆがんだ教育から抜け出て真の民族教育、ことばと歴史と文化と祖国の先人を尊敬する教育を受ける権利が君たちにはある。そのためにがんばってほしいと心から願う。

二〇一〇年 六月十一日

朝鮮高校『現代朝鮮歴史』の翻訳・刊行にさげしつ

緊急アピール

(朝鮮高校への税金投入に反対する専門家の会)

一、朝鮮総連が運営する朝鮮高級学校(高校、以下同じ)の現代史教科書『現代朝鮮歴史』の第一巻を全文翻訳し、世に出すことにした。現在、日本各地の朝鮮高校で使われているもので、一巻から三巻までである。これを三年間で教えているとみられる。第一巻に次いで二、三巻も引き続き翻訳出版する。

昨年末ごろから鳩山内閣が高校授業料の無償化方針を打ち出したことに関連して、朝鮮総連や朝鮮学校関係者から朝鮮高校も無償化すべきだとの意見があがった。

二〇一〇年三月十六日の衆議院議員本会議で、日本の高校授業料無償化法案が可決された。このさい、朝鮮高校については教育内容がわからないから「第三者機関」を設け検討して判断し、決定するとした。

二、このころから、朝鮮総連や朝鮮学校関係者から「朝鮮の子どもを差別するな」の意見がはげしくなるにつれて、マスコミやインターネット上で賛否の議論が行われている。教育問題から政治問題へと発展しつつある。これらの論議には問題点が多い。朝鮮学校の教科書は